

Cisco Wireless Control System の複数の脆弱性

Low	アドバイザーID : cisco-sa-20070412-wcs	CVE-2007-2033
	初公開日 : 2007-04-12 16:00	CVE-2007-2035
	バージョン 1.1 : Final	
	CVSSスコア : 2.8	
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Wireless Control System (WCS) は、無線 LAN の計画と設計、システム設定、場所の追跡、セキュリティの監視、無線 LAN の管理に必要なツールを提供することにより、Cisco Aironet Lightweight アクセス ポイント、Cisco ワイヤレス LAN コントローラ、および Cisco Wireless Location Appliance と連携して動作します。Cisco WCS には、固定の認証クレデンシャルを介した情報漏えい、権限昇格、および不正アクセスが発生する可能性がある、複数の脆弱性が含まれます。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートを提供しています。これらの脆弱性に対しては回避策があります。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20070412-wcs> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

4.0.96.0 よりも前のバージョンの WCS は、これらの脆弱性に該当します。特定の Cisco Bug ID に対応する第 1 修正済みバージョンを確認するには、このアドバイザーの「ソフトウェア バージョンと修正」セクションを参照してください。

特定の環境で稼働している WCS のバージョンを調べるには、次の手順に従います。

1. WCS のグラフィカル Web インターフェイスにログインします。
2. メニューから Help > About the Software を選択します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2007 年 4 月 14 日	文法上のわずかな変更
リビジョン 1.0	2007 年 4 月 12 日	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。